

# 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー会長  
シエカール・メータ



奉仕しようみんなの  
人生を豊かにするために

Weekly Report Rotary 2021-22

国際ロータリー 第2780地区  
**相模原南R.C.**  
友好クラブ：金沢北R.C. 鹿屋西R.C.  
<http://www.sa-south.org/>

■会長 一ノ瀬 裕 ■幹事 鈴木 昌彦 ■会場監督 中山 智晃  
例 会 場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)  
〒194-0013 レンブラントホテル東京町田  
事 務 局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F  
〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

Vol.51

号 外

No.5

令和3年9月10日

## ■会長の時間

会長 一ノ瀬 裕

会員の皆様には平素よりクラブの運営にご理解、ご協力を戴きまして心より感謝申し上げます。

今年度地区活動方針の下、活動目標として「ポリオ根絶と会員増強」が掲げられております。この目標に沿って当クラブでは第2780地区で最も早く「ポリオ根絶推進活動」として募金活動を行いました。幸いにも当クラブ会員の能楽師であります松山隆雄先生のご出演の機会にご協力を戴きまして、去る8月22日(日)相模女子大学グリーンホール・大ホールにおいて行われました「第33回相模原・薪能」の開催時に相模原市のご協力も得まして「ポリオ募金活動」を実施することができました。地区より参加して戴きました田島ガバナー、畷住ガバナー補佐、大谷 PG、地区ポリオプラス神谷委員長、根岸副委員長、関口直美委員、中村辰雄委員そして当クラブ会員8名の総勢15名のメンバーでした。

コロナ禍の緊急事態宣言期間中のため、感染防止に十分注意しながらの募金活動に努めましたが、それにもかかわらず参加者の皆様の明るい姿勢には大変ありがたく心より感謝申し上げます。

## ■ポリオ根絶募金運動 活動報告①

公共イメージ委員長 江田 昌弘

奉仕プロジェクト委員会(社会・国際奉仕委員会)、基金プログラム委員会(ロータリー財団委員会)、クラブ広報委員会(公共イメージ委員会)で連携し、本年度はポリオ根絶募金運動を令和3年8月22日(日)に相模女子大学グリーンホールにて実施いたしました。例年はハロウィンフェスティバルの参加などで多くの会員の皆様の参加のもと、大々的に行ってまいりましたが、コロナ禍の影響で昨年度は募金活動を中止しました。本年度は状況を鑑みながら、松山隆雄会員のご理解をいただきまして、第33回相模原薪能の会場受付に併設させていただきました。

2780地区で今年度最初の募金活動であったこともあり、相模原南以外のロータリアンも応援に駆けつけてくださいました。ご参加いただいたのは、田島透 ガバナー、大谷新一郎 世界ポリオデー実行委員長、畷住悦子 ガバナー補佐、神谷一博 ポリオプラス委員長、根岸君代 ポリオプラス副委員長、中村辰雄 ポリオプラス委員、関口直美 ポリオプラス委員、相模原南クラブからは、一ノ瀬裕 会長、鈴木昌彦 幹事、中島信義 副幹事、黒河内彰子 基金プログラム委員会常任委員長、中澤矩長 社会・国際奉仕委員長、竹村克二 プログラム委員会副委員長、足立句一 会報委員、そして私 江田昌弘(公共イメージ委員長)でした。

皆様の頑張りで、募金額は 44,143 円となりました。募金箱やタペストリー・ノボリなどの準備、炎天下の中の設営や撤収など、ご支援をありがとうございました。また、人数調整の関係から、参加自粛にご理解をいただきました会員の皆様にもお礼を申し上げます。

コロナ禍で限られた時間とメンバーでしかできなかったことが残念でしたが、これを機会に時代に合わせた奉仕を小さなことからでもはじめていければと思います。

クラブ例会で寄付を募り、今回の募金と合わせて地区に送金する予定であります。会員の皆様、ご協力をお願い申し上げます。

## ■ポリオ根絶募金運動 活動報告②

社会・国際奉仕委員長 中澤 矩長

松山隆雄会員主催の【第三十三回相模原薪能】に併せて、市において会場で【ポリオ根絶募金運動】を行うことができ、お忙しい中、たくさんの会員の方々がご参加くださいました。ご苦勞様でした。

2019年迄は《さがみおおのハロウィンフェスティバル》に併せて相模大野中央公園でポリオ撲滅活動(根絶活動)を毎年10月末(10月24日は世界ポリオデー)におこなってきていましたが、コロナ禍の影響で昨年からはできなくなり困っておりましたが、今年は市の協力により、開催でき本当に良かったと思います。相模大野中央公園で行った時は何名かの会員が仮装姿で募金活動を行ったことを思い出します。

一番困ったことは、寄付者から「ポリオって何ですか」と聞かれたことです。ポリオは「骨髄性小児麻痺」であることを勉強しました。

わずか米賃60セントのワクチンで幼児を救うことができます。今後もポリオ撲滅活動(根絶活動)を続けていきたいと思います。



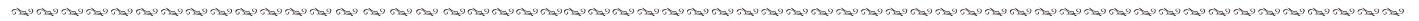
今週の情報	本日のプログラム	
	次会のプログラム	
	近隣クラブ例会情報等	

■ポリオ根絶募金運動 活動報告③

基金プログラム委員会常任委員長 黒河内 彰子

初めてポリオ根絶募金活動に参加させて頂き、ロータリークラブの国際奉仕の取り組みに感銘を受けました。

多くの方々に募金のご協力を頂き、有難く思うとともに、南ロータリークラブの強い結束を肌で感じた一日となりました。



● ● ● ロータリーの友8月号紹介 ● ● ●

担当：青木 亜也

【横のページ】

●4～5ページ

RI会長からのメッセージ「2022年7月までに会員数を130万人に増やす」というビジョンについて。

●7～19ページ

会員増強、新クラブ結成推進月間特集として「ロータリー衛星クラブ」について、その定義から、実際の活動内容まで。19頁には相模原西令和大野クラブの意見として「今までにない会員を入れることで考え方、思想が広がる」と衛星クラブの意義をのべている。

●20～25ページ

2021年5月25日オンラインで開催された「日本のロータリー100周年を祝う会」についての報告 元RI理事千玄室様基調講演が掲載されており、「ロータリーに入って下さい、と頭を下げて入ってもらわなければならないようなロータリーでは、私は駄目だと思います。ロータリーに入れて下さい、私は入りたい。ロータリーに入って自分を学ばせていただきたいという方向にもっていかねば。」「ロータリーから奉仕を取ったら、もう未来はありません。…その言葉の意味、哲学というものをもう一度クラブにおいて、会員が語り合い理解し合っていたら、このロータリーという大河は、つつがなく目的地へ流れていくでしょう。」などと述べられている。

●40～41ページ

2021～2022年度RI理事会メンバー紹介（東京西RC辰野克彦様）

●45～47ページ

2020～2021年度地区大会略報 全て動画配信ないしオンラインにて実施とのこと。

【縦のページ】

●4～8ページ

大阪ロータリークラブ会員更家悠介様スピーチ

●9～12ページ

「この人訪ねて」は宇部西ロータリークラブ金子淳子様、小児科医としてのみならず、子ども食堂等の運営も通じて、子どもや子ども中心とした行き場のない地域住民の居場所を提供する活動が紹介されている。

●13ページ

卓話の泉「変わりゆく供養スタイル」として、手元供養や遺骨を人工ダイヤモンドに加工する供養方法などが紹介されている。

● ● ● ロータリーの友9月号紹介 ● ● ●

担当：足立 旬一

【横のページ】

国際ロータリー指定記事を中心に掲載されています。

●4～5ページ

RI会長メッセージです。9月は、基本的教育と識字率向上月間です。読み書きの習得は、貧困を脱出するための第一歩です。ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが言うように、「1人の子ども、一人の教師、1冊の本、1本のペン、それで世界を変えられる」のです。

●7～13ページ

「リテラシーがもたらすもの」が掲載されています。東京王子RCと岡山南 RC の活動が具体的に掲載されています。参考になると思います。

9月は、ロータリーの友月間でもあります。横組み17ページにロータリーの友に関するクイズが掲載されています。是非とも挑戦してみてください。

【縦のページ】

日本各地のクラブよりの投稿を中心に構成されています。

●4～8ページ

筑波大学名誉教授門脇厚司様「社会力育てが人類社会を救う」が掲載されています。

●9～12ページ

神戸 RC 河野忠友様「この人を訪ねて」が掲載されています。神戸 RC は、日本で3番目に創立した会員数160名前後のクラブです。河野様のご提案で、出席のハンコウをやめて、バーコードスキャンに変更されてようです。

●13ページ

卓話の泉に「弁護士への頼み方」が記載されています。

●16～26ページ

各クラブの具体的な活動を投稿した「友愛の広場」と「ロータリーネットワーク」が掲載されています。参考になりますので、ご一読いただくと幸いです。

「ロータリーの友」購読は、3大義務の1つです。